

地域密着型金融推進計画

当行では、平成17年8月に「地域密着型金融推進計画」を策定し、地域の中小企業の再生と中小企業金融の円滑化に向けてさまざまな施策に取り組んでおります。

「地域密着型金融推進計画」の概要

本計画は、「リレーションシップバンキングの機能強化計画（平成15年度～平成16年度）」の成果や、地域及び当行の特性等を踏まえ、計画期間中（平成17年度～平成18年度）に「事業再生・中小企業金融の円滑化」、「経営力の強化」、「地域利用者の利便性向上」を柱に地域密着型金融を進める方針や具体的な施策を定めたものです。

当行では、「銀行はサービス業である」という原点に立ち、地域金融機関として、これまで以上に地域の皆さまのお役に立てるよう、本計画を着実に実行してまいりました。



■「地域密着型金融の機能強化」の3つの柱の重点項目

1 事業再生・中小企業金融の円滑化

- 企業ステージに応じた問題解決型サービスをさらに充実
- 人材育成、行内ノウハウ・情報の蓄積継続
- 外部機関との連携関係を充実、強化

地域密着型金融の機能強化

2 経営力の強化

- 「業務改善計画」に基づき業務運営の基本である「内部管理態勢」を速やかに強化
- 収益管理、信用リスク管理のさらなる高度化
- ITを活用し利用者の利便性を向上

3 地域利用者の利便性向上

- 利用者の視点に立った分かりやすい情報開示
- 「お客さま、株主さま、地域社会、職員」の満足度向上に向け、利用者の意見を経営へ反映

「地域密着型金融推進計画」の進捗状況（平成17年4月～平成19年3月）

当行では、本計画を通じて「お客さま、株主さま、地域社会、職員」の各ステークホルダーの満足度を高めることにより、企業価値を高めることを目標としております。計画期間中に予定していた主な施策に対する取り組み状況は下記のとおりであり、

ほぼ予定どおりに取り組むことができました。また、同計画は平成19年3月をもって終了となりましたが、今後も地域密着型金融の本質を踏まえ、地域の皆さまのニーズにお応えできるよう、本計画の主旨をこれからの施策に反映させていく所存です。

地域密着型金融推進計画の3つの柱の進捗状況

事業再生・中小企業金融の円滑化

- ◎事業再生に向けた種々の問題解決型サービスを拡充するため、行内の研修体系の整備や外部機関との連携を強化し、ノウハウを蓄積するなど、人材育成や再生手法に関する情報集積に取り組みました。
- ◎マーケット別の営業体制を構築するとともに、商談会を開催するなど取引先への経営支援に取り組みました。

経営力の強化

- ◎「業務改善計画」を経営の最重要課題に位置づけ、コンプライアンスの徹底と内部管理態勢の強化等に、全力を挙げて取り組んだ結果、平成19年2月末までに同計画は終了となりました。

- ◎収益管理態勢の強化や信用リスク管理の高度化を目指し、それらのベースとなる信用格付制度の精度向上を図りました。
- ◎事務システム委員会を設置し、利用者保護や利便性向上に向けてITの戦略的活用について検討しました。

地域利用者の利便性向上

- ◎当行の地域貢献への取り組み状況について、利用者にとって有益でわかりやすい情報開示となるよう、公表内容等の拡充に取り組むとともに、ホームページを全面改定しました。
- ◎全店を挙げて「好品質計画」の具体的な施策を実践するとともに、利用者の声を今後の業務運営に反映させるため「利用者満足度アンケート調査」を実施しました。

主な計画目標の進捗状況

計画目標

ビジネスマッチング仲介件数
年間50件実施（平成18年度）

進捗状況

- ビジネスマッチング情報の活用や商談会を開催した結果、平成18年度中に113件、計画期間中にのべ315件（うち成約件数68件）の仲介実績となりました。

計画目標

500先以上の取引先へ
経営改善支援を実施（平成18年度末迄）

進捗状況

- 取引先503先を選定し、経営改善支援を実施した結果、期間中に88先の債務者区分がランクアップしました。

「地域密着型金融推進計画」については、当行ホームページにより詳しく掲載しております。